

# 平成二十三年度総会報告

四月16日14時から、二丁目の岩岡由美子さんを議長に選出し、22年度事業報告および決算、23年度事業計画・予算案、新年度運営委員が拍手で承認されました。

運営委員の新陳代謝の鈍さ、出席率など厳しい指摘もありましたが、昨年度後半、協議会の「活性化プロジェクトチーム」が充足し、改革を進めており、幾つかは実行に移されたことが説明されました。事務担当者の運営委員としての自覚も強まりました。吉祥寺東地域は、外環地上部道路、東町二丁目交通問題、法政記念館跡地の汚水交じり雨水大貯留槽計画と難問をいくつも抱え、いずれもまだ解決に至りません。23年度も粘り強くこれらの課題に取り組みることになります。

東北大地震を受け、東部福祉の会の呼びかけで、本宿、本町コミと共に、地域諸団体にも呼び掛け、一時避難所である三中、本宿小での、地域自主防災を考える会を発足させることになりました。

新運営委員に一丁目の浅井信也さん。運営委員全員が承認され、後日の臨時運営委員会で、今年度の代表に井部文哉氏、副代表に小林宏・山口智章・青木一郎・田鶴浜静子の四氏、会計宮沢元英さんが選出されました。

総会後、養生木蘭会主催者田淵とみえさんの講演「美しく健康に暮らすために呼吸と気功」があり、「動物も植物もすべての生命体の生命維持は呼吸活動と切り離せない。絶えず新陳代謝を行わないと命は途絶えてしまう。気功は、調身、呼吸、調心が



基本だが、最も大事な呼吸について、無意識にしている胸式呼吸でなく、腹式呼吸の習慣化を」と勧められました。基本は上虚下実上半身緩んで下半身しっかりだそうです。皆で腹式呼吸を練習し、体を動かした後、試演がありました。とても75歳とは思えない柔らかい動き。さすがです。その後、九浦としては久しぶりの地域懇親会を行いました。なお決算書は3面に掲載。

## フューマーケット今年の拾いもの

今年の夏のフリマ(六月5日10時半〜14時)は、出店申込みが15分で満席に。常連に加え、東部福祉の会の子どもスタッフくらぶが出店しました。九浦カフェも人気上々。売れた店、そうでもなかった店があったものの、それぞれが楽しめたようです。

人波が一段落した後、写真のお母さん子どもスタッフに赤ちゃんを抱かせてくれたのです。乳児をだっこできるのは、この頃の子どもにとってはほとんどない体験です。兄弟が多い子でも私は未っ子だもの、皆感激の面持ちでした。店番一段落の大人も代わる代わる抱かせてもらっていました。その間赤ちゃんも泣かずにサービス。こういうのが九浦のフリマです。もう一つがお馴染みの自転車整理の若者。気働きが出来、高い評価を受けました。引継ぎ若者を期待しています。50円で売られた廃食用油利用の石鹸はクリーンむさしの川上さんの手作り。台所から洗濯まで万能で、落ちも良いです。



↑赤ちゃんと共に出店



↑自転車整理サービスの若者

**東コミ局**  
センターからの  
お知らせ  
11.07.01

▼六月12日午後九浦の家で、本宿コミニティ協議会との懇談会代表ほか役員。共働態勢、節電情報共有、コミニティ掲示板利用など。

- ▼五月2日に今年度スタートの九浦太極拳11人申し込みがありました。
- ▼子供囲碁教室は、子どもが減り大人の希望者が増え、囲碁入門教室に名称変更。
- ▼うぐいす小路入口吉田造園にあった東コミセンの案内板が、吉田家の建て替えのため取り外されました。
- ▼希望が強かったので、フリマの申し込み日を日曜にしました。
- ▼窓口の募金箱第一次3100円、第二次フリマ九浦売り上げなどを加え40000円を東北地方義捐金として市役所へ。
- ▼五月25日九浦の家落語会は、「おしの釣り」と「田能久」の2席でした。
- ▼下駄箱を作り直しました。スリッパを衛生的に、多数納められるようにしました。
- ▼節電対策に扇風機2台購入しました。
- ▼児童室に希望でホワイトボード導入。
- ▼地震後倒れたスロープの擬似丸太柵を浅井委員がたちまち修理。草取りも完璧にこなされ、趣味と言われますが大感謝。
- ▼ホール、廊下・事務室の大々的な床洗いを予定しています。
- ▼パソコン容量管理失敗のためのトラブルで、HPが未回復です。至急直します。
- ▼吉祥寺東コミセン電話 21-7141

**九浦のびんへおごください**

毎月第四木曜夜7時半から、参加した方たちの自由な話し合いです。四月は「地元新市議に聞く」。五月「東町はくらしよいか」、六月「東電の家庭での節電方法」でした。お気楽にどうぞ。

# 街づくりができるのは、そこで生活

平成22年度 決算書 (22年4月1日～23年3月31日)

■委託金の部		■ 補助金の部 <収入>	
収入額	市委託金 4,414,000	市補助金	2,076,000
支出額	窓口手当 4,221,475	前年繰越金	907,414
精算額 (返金)	192,525	雑収入	1,308
<支出>		計	2,984,722

項目	
事業費 416,519	アジアを知らう92,192 かるた大会14,200 囲碁大会16,667 バス研修43,070 初級囲碁9,805 九浦落語会55,000 もちつき60,740 コンサート76,982 地域活動費20,000 私たちの街企画14,223 子ども会3,640 子ども囲碁10,000
運営費 178,441	お茶麦茶11,937 管外研修4,000 つどい6,612 委員会32,250 バス研修84,000 交流会(本宿)3,200 事務会議24,962 研連あり方懇4,342 研連415 タウンミーティング3,723 館内整理3,000
消耗品費 240,471	茶・麦茶6,868 臼8,000 杵2,000 門松700 有料ゴミ袋6,100 鍵18,060 ほうき2,417 高枝ハサミ8,820 コード3,288 事務用品8,538 台車5,043 電池1,556 玄関マット代36,855 台所用品19,050 譜面台5,880 本7,725 ファクスリボン3,880 トレットペーパー14,290 コピー用紙7,949 プリンターインク15,550 蛍光灯12,140 ストープ8,000 マイスタンド2,520 カークリーニング5,400 コンセントカバー312 椅子5,990 ロールスクリーン7,880 かるた札8,820 時計3,670 ファブリーズ3,170
印刷製本費 598,981	九浦の家だより352,590 配布代54,520 印刷機(INK・マスタ)101,745 リス代152,040 コピー保守、リス222,262 コピー売上△104,159 印刷機売上△180,017
雑誌購読	月刊誌 2部 14,160
通信交通費 85,844	ピンク電話代40,584 切手はがき35,110 ピンク電話売上△1,330 交通費11,480
IT関連費	IT 50,610
負担金	コミュニティ研連負担金40,000
修繕費 126,112	戸棚棚板取付6,300 蛍光灯取替32,400 畳表替え87,412
備品費 96,475	椅子12,250 車いす11,400 事務机22,425 リップ入れ50,400
合計	1,847,613 繰越金 1,137,109

## 四丁目ポンプ場仮設公園 雨水等貯留槽工事着工。

四月16日午前、本宿コミセンでの説明会で、23・24両年度で、1200トンの貯留槽を設置し、地上は従来のようなポンプ場公園とする旨の説明がありました。既に黄色のフェンスで囲い、樹木の移植が始まっています。ポンプ場跡地は、規模も小さく、もともと似た機能の施設があったため、法政跡地のような住民の反発はなく、早く着工しました。

工事が進むと、重機や土を運び出すトラックの出入りが増えるため、東側杉並区境の道路は車両通行が制限されます(自転車と人は通れる)。そのため、西側の本田東公園との間に、ムーブス専用のバイパスが造られる予定です。

## 1万トンの汚濁雨水貯留槽 計画 法政跡地その後2

五月18日夜7時～三中全会議室で第五回説明会。下水道課の説明資料と、住民側のほしい資料とは又すれ違ってしまいました。貯留される水(越流水)についてのプロジェクトによる映像は、見た目の汚濁に関してのものでしたが、住民が気にしているのは、清濁でなく、善福寺川沿い住民と同じく細菌数など衛生上の汚れ具合です。合流改善の必要性を理解した要因でもありますから。

今回は、前回(二月)の敷地いっぱいの長方形の貯留槽計画が南に寄せ、元テニスコート部分に縮小され、その分深く掘ることで容量を確保する案ができました。

27×31メートル深さ34メートルをケーソン工法でという提案です。

住民は、想定外の地震の後でもあり、この深さ34メートル、内部はバルテノン神殿状という施設への不安を訴えています。住民からは、女子大通りの下水管の下に、シールドで出来ないかとの質問が出ています(双方の耐用年数、地震時の脆弱性などについても)。

根強い他の市有地では駄目か、負担が分散できるシールドは駄目かという質問に対して、市は、「最下流でまとまった土地で浸水対策にも合流改善にも一番合理的であり、25年度まで期限が迫った合流改善施設のため、工期の点でも理解してほしい」と言います。

「シールドの土は産業廃棄物扱いなどもありません。担当部署がまとめた一〜四回までの説明事項中の質問の十分な説明をまだ受けていません。市は、どの工法でも必要なので、法政跡地の地質調査は早急にやらせてほしいと言っています。」

越流緩和対策として、市は雨水浸透柵設置補助事業既存住宅への設置本人負担軽減)を六月1日市報No.1900号に掲載。そして「雨を考えてみませんか？」というPR

の成果としても、上級生を見習う効果でしょうか、それとも、子どもの自然な発達はこいついつものなのでしょつか。次週に予定していた三中、第四小運動会は大雨で火曜日開催しました。

◎六月17・18日の学校公開に、お知らせを見て参観した来年就学児の親が、一年生の落ち着いた授業ぶりに感心しきりでした。

◎四月18日朝、二丁目24女子大通り近くのお宅の塀をハクビシンが走る。

◎東町の事故 五月16日夜23時、東十一小路北の出口近くで、自転車同士衝突で、頬骨陥没骨折。同19日朝七時50分、一丁目の松園小路と一丁目通り交差点で、南へ走る乗用車が自転車の高校生と接触、高校生はボンネットへ、車は自転車を10メートル引きずる。幸い軽傷でした。

東町の火事 四月〜七月発生無しです。

◎六月五日市街道トコヘット向かいの工ステサロ閉店。

◎六月半ば、サンロード出口近くのプティグ閉店し後が犬用品PET.Dogsに。

◎女子大通りフンスペースは、犬カフェ猫カフェの準備中です。

◎ヨドバシカメラ東のマンション建設は、協定で工事車両はクワッドロードを使います。

の封書も3千戸ポストイングしましたが、影響はまだ2%とか。考えるより、お願いしてもやつてもらうべきです。

地元住民の「合流改善・洪水対策を考える会」と吉祥寺東ミニティ協議会は、全雨水の15%を占める道路に降る雨対策用と密集住宅地の雨水柵について勉強するため、六月中、雨水浸透技術協会を訪ね、また、墨田区の「雨水市民の会」の安藤勝治氏に、進化している雨水浸透柵についての話を聞きました。

此の度の市議選で、吉祥寺東部から当選された落合・小美濃・桑津・斯波・深沢・深田・前田の各氏は、「むさしの外環反対の会」のアンケートに対し、外環地上部道路の計画について全員「よく知っている」、「反対」と答えています。

## 外環地上部道路を（い）つて（な）うなげ。・・・

### 第8回外環地上部道路話し合いで動議

四月下旬予定が、地震で遅れ、五月9日夜7時から第8回話し合いの会を市民会議室で行いました。傍聴席60程が満席。この日は、第7回に時間切れで中断した東町の古谷構成員（市民の委員）の「武蔵野市の現状と課題の説明予定の所、冒頭、構成員の一人から、次のような緊急動議が出されました。

「東日本大震災の復興の道筋が立たない状況で、この会を続けていくことに疑問がある。被災地にお金を送る、石原都知事が言う東京都の防災費用に回す、原発への対策にも必要ではないか。このまま「話し合いの会」を続けていくか決をとってほしい。」

会場は一時騒然となり、小休止の後、司会者の計らいで他の構成員が順次意見を表明しました。

・二月11日の東北方面の幹線道路は車が詰まって動けなかった。また、災害時こそコミュニティが大事なのが分ったので、地上部道路でコミュニティ分断は絶対困る。

・今回の震災と原発事故で科学技術の常識がひっくり返った。今は社会の制度や仕組みを一から見直す時だ。  
・現地の復興は10年単位だ。外環や外環ノ2より、原発を含めた震災復興

と津波、液状化から都民を守るためのインフラにお金を回すべきだ。

・福島原発の電気は都民が使っている。都税から被災地に金を出すのは義務だ。

・40年前の計画を今やるのが時代錯誤で、震災でこの会議が方向転換すべきだ。など、動議に賛成の意向が濃厚でした。

復興は大切だが、この場で課題化は疑問で、外環ノ2について課題・問題を明らかにすることをこの会に望んでいる。という意見もありました。

行政と住民の信頼関係が築けない理由の一つは、再度都の課長が交替し、担当が変わるとまた一からやり直さねばならない。二つは何度要請しても資料が出てこない。また、前課長は、都が出した3つの提案は変えられないと言った。聞きおくだけの行政のやり方の結果が原発問題ではないか。という住民側の問いに対し、都の小口課長は、

「道路を造る造らないという話も大事だが、それ以上にこの街はどうあるべきか、良い街を作りたい姿勢は変わっていない。ニュートラルなところで議論したい」と答えています。

司会者から「震災については一生懸命

### 東町二丁目交通問題前進のためその後

前号でお知らせしたように、武蔵野警察署の交通課長の異動のため、四月の面談が延期され、新課長との面談が、六月3日予定されていました。ところが、新担当課長が急逝されたため、再び延期されています。

命対応しなければならぬが、その理由で「話し合いの会」を止める止めないの議論は、議事進行とは違う。傍聴者の意見（アンケート）も持ち帰り都に整理して出してもらいたいので、決を採るのは取り下げてほしい」と呼びかけがあり、5分間の休憩を取って、住民側構成員が話し合った結果

「止めるという意見もあつたが、新しい課長に替ったこともあり、次回話を聞いても良いのではないか。震災を踏まえ、どう外環を位置づけるかを含め、納得できる資料なら「話し合いの会」を続ける。そうでなければ解散という風に考えたい」ということになりました。

（文責 傍聴した吉東コミ広報担当者）  
議事録、議事要旨が出来上がり東京都HPにのるそうです。

**むさしの地区外環問題協議会**（南吉東本宿の3コミセンネットワーク）総会が、六月18日（土）19時から本宿3コミセンでおこなわれました。

「外環地上部道路話し合いの会の報告と質疑が中心となりました。今年度①学習会都議に聞く②市長・副市長・まちづくり推進課との話し合い③外環道路特別委員会傍聴④国交省へ懇談会開催を要望 が決まり、会の姿勢は「中道を守る」ことを確認しました。



↑一年生の面倒をみる六年生。

崎英華先生深大寺小へ転出。河合千代先生、水上卓也先生、田口美樹先生と、5、6年の指導員北野美奈子先生が着任されました。また給食技能主任で赴任した吉田孝範さんは本宿小卒業生です。

◎第四小学校図工専科の大木雅夫先生ご退職。坂田日和、金子淳平、大江雅子、今本佳代子の諸先生、養護の岩淵美香先生、はなみずき学級岡安美絵子先生ご転出。山口武志、平岩奈津美、前川遥の3先生、図工の岩崎裕先生、養護の村上尚子先生、はなみずき学級の上津原尚美先生ご転入。産休代替に土肥明美先生が就かれました。武蔵野市外から転入された先生が多いです。

◎第三中学は、續恭司先生が退職され、元木靖則校長が練馬区立関中学から赴任されました。国語の白高眞理先生ご退職。数学の伊藤一弘先生、理科の佐々木政紘先生、国語の菊地康江先生、美術の小松稔先生ご転出。かわつて、国語の伊藤恵子、数学の田中健児、理科の小池義之の諸先生がご転入、国語の太田圭祐先生が新規採用で赴任されました。

◎五月21日本宿小運動会が行われました。終わった後、皆日焼けで真っ赤という強い日差しのもと、生徒数増のため久しぶりに校庭（グラウンド）もがっぱい。緊張の面持ちで並び、一年生の頭上を、黄揚羽がゆつり飛んでいきます。入学式からたった一ヶ月半の新一年生が、きちんと並び、綱引きをし、二年生と共にダンスをしているのが驚きです。入学式では、じつとしていられない子も多数いたのに、集団でここまでまとまるのは先生の指導

吉祥寺東コミュニティ通信

# 九浦の家づくり

●NO92 '11.06.30  
吉祥寺東コミュニティ協議会  
●武蔵野市吉祥寺東町  
1-12-6  
吉祥寺東コミュニティ  
センター(九浦の家)  
●電話0422-21-4141

## 夏季節電のための休館日のお知らせ

今夏の電力不足に備え、武蔵野市の公共施設は、七・八月につき15%節電が努力目標になりました。  
九浦の家は、検討の結果、次のように決まりました。あしからずご了承ください。

七〜九月の間  
全ての水曜日を休館します。

## 三月十一日余間

### 24時過ぎの女子大通り

91号でお知らせしたように、東コミセン九浦の家では地震後代表がセンターに詰めていましたが、10時過ぎ来る人もなく、一時ロビーに避難して休んでいた方たちも帰宅されたため閉館しました。  
井の頭通りに面した南コミセンが通行人にトイレや水や休み場所を提供し、本町コミセンは、市の依頼で帰宅困難者に開放されたのは前号でお知らせしました。

東町では、深夜、女子大通りに面した床屋さんは、あまりに人が大勢通る足音に、何事かと思つて出でみると、遅くってから地下鉄丸ノ内線が復旧したため、

荻窪駅までたどり着いた人たちが、西に向かつて歩きだし(青梅街道でなく線路に近い路を走ると、東京女子大学の所に出てくる)、さらに女子大通りを過ぎていくところでした。この人たちの多くが、東町駐在で道を聞いたようで、夕刻吉祥寺駅前で帰宅困難者に市の休憩施設を教えるのに忙殺された東町駐在さんは、深夜再び道案内に苦労しました。駅前でも、駐在でも、ここがどの位置で、向かいたい方向や場所はどこら方面かを示す手渡せる地図がなかったためです。女子大通りの帰宅者は予想しなかったことでした。東コミセンも、こうした場合は、「トイレ、飲み水あります」の看板と、場所を示す高張提灯でも出した方が良かった。今後考えようという話になりました。  
吉祥寺東町では、地震直後には少数しか確認できていなかった屋根瓦のずれが、かなりあったようで、ブルーシートを掛けたお家が所々見受けられました。

### 東町近辺の放射能

放射能物質飛来による汚染が子どもを持つ方の大関心事です。五月29日本宿コミセンで行われたタウンミーティングでも、後半は赤ちゃん連れの母親たちが次々

安を述べ、泣き出す方もいました。

六月16日東京都の検査結果がテレビ各局から報道されました。この結果については、今までの放射線被ばく情報の中で、最も厳しいレベルの判断で、線量の目安を出している中部大学の武田邦彦教授が、「データを扱うようになったのは進歩だが、データが正確かという所までいっていない」と苦言を呈しています。東京都の測定では「空間線量」がおおよそ0.08〜0.35ほど。データの見方として、自然放射線年1.5μシーベルト、人工放射線限度年1μシーベルトで計2.5μシーベルト。これを365日×24時間で割ると、1時間に0.285μマイクロシーベルトまで良いと発表しました。武田教授は、内部被爆(飲食などの影響)分を考慮して、1時間あたり、0.2μマイクロシーベルトが目安で、それ以下なら通常の生活で良いとしています。  
武蔵野市は六月1日三小、五小、桜野小の校庭と道路の境界線上を地上5、50、100cmで測定し、どの校庭も一番高い数値を示した地上5cmで0.2μマイクロシーベルトでした。計測結果は九浦の家掲示板に貼ってあります。また、水道水については、週3回測定を実施し、随時市のホームページで発表していますが、六月22日東町四〜18の蛇口からの採水分は、検査の結果ヨウ素131、セシウム137、ストロンチウム90も不検出でした。六月8日には、本宿小と六中のプールの水が検査され、教育委員会は授業に差し支えないとしました。水は水道水ですが、降雨などの影響を配慮して調査したもので、学校からはプール使用期間中、月に2回の測定を約束してもらっているそうです。

## 予告

七月9日PM25アジアを知らうスリランカ「シルヴァさんが見た日本とスリランカ」  
七月15日(金)19時〜三中全会室  
第六回下水道事業法政跡地説明会  
七月28日19時半〜  
「東北応援納涼コミュニティのついで」  
七月30日9時半〜誰でも学べる昆虫学「九浦の庭の生き物探し」  
講師 小峰光弘さん  
八月20・21日18時〜本宿小校庭  
本宿盆踊り・花火大会  
八月21日9時〜第三中学校庭  
武蔵野市防災訓練  
地域で出来る防災・避難所設営まで・災害時要援護者安否確認など

今後は、都や市のHPを見て、データの推移に注目しましょう。正しい知識を身につけ、自分でも判断できる力をつけましょう。

### 東町(吉祥寺東)ニュース

街中にはヤマボウシとタイザンボクが咲きほこっています。今年、南町の高齢者施設ゆとりえの庭のハンカチの木が四月末8つ独特の花をつけました。

◎花冷えながら桜の入学式。四月6日、本宿小は一年生が47名2クラスに。全校24名。第四小学校は67名入学で2クラス。全生徒数363名です。七日入学式の第三中学は、男子74名、女子54名が入学、4クラスとなりました。

◎今春は、先生が大幅に異動されました。本宿小は、石橋昌雄先生が板橋区立第十小へ転出。佐々木克一校長が豊島区教育委員会から赴任されました。岡